

大切な誰かを思う

すべての人の人の物語

松竹

日本中を感動で包んだ、リリー・フランキーの大ベストセラー小説「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」が、いよいよスクリーンに登場。公開直前の特別試写会に、読者280組560人を招待します。

大ベストセラー待望の映画化
深い余韻を与えるバラードにも注目

亡き母の思いを、独特のユーモアで描き出した原作は、連載開始当初から映画人にほれ込まれたという作品。それだけに、松岡錠司監督ラ・タツフは、セツトや衣装など細部に至るまで熱意を注いで、大ベストセラーとなった小説を映画化。
注目のキャストには、主人公ボクに、日本映画界

亡き母の思いを、独特のユーモアで描き出した原作は、連載開始当初から映画人にほれ込まれたという作品。それだけに、松岡錠司監督ラ・タツフは、セツトや衣装など細部に至るまで熱意を注いで、大ベストセラーとなった小説を映画化。
注目のキャストには、主人公ボクに、日本映画界

細は <http://www.tokyo-tower-movie.jp/>

From Message

- これはリリー・フランキーさんの話ではありません。僕自身の話であり、貴方の話でもあると思います。観た方全ての胸にハマる形の想いです
- 実際映画を観て、脚本を書いているおきながら泣いてしまいました。これはもうしょうがないです

松尾スズキ / 脚本

オダギリジョー / 主演



写真上 / 何も言わずに差し出したオダギリジョーの手を、樹木希林が黙って握ったというこのシーン。言葉がなくても存在する親子の愛を、二人が見事に表現した一幕
写真下 / 今作が本格的な映画デビューとなる内田也哉子。一人の「オカン」を、親子の2人がどう演じるか注目を

©2007「東京タワー」o.b.t.o 製作委員会

シティシネマプレビュー

「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」リサイタルホールで開催

シティシネマプレビュー「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」の試写会に、シティ読者280組560人を招待します。応募は「Citywave」からアクセスを。

※主催 / シティリビング、協賛 / 東急スポーツオアシス、協力 / 松竹

日時 ● 4月10日(火) 午後6時45分開演(6時15分開場)

会場 ● リサイタルホール(地下鉄肥後橋駅すぐ、地下鉄・京阪淀屋橋駅歩7分)

応募締め切り ● 4月3日(火)。 ※応募者多数の場合は、抽選の上、当選者に4月4日(水)頃、直接招待状を送付します。

問い合わせ ● シティ営業部 ☎06(6647)2108

Citywave
<http://www.citywave.com/osaka/okan/>